

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業開始届書

平成 年 月 日

様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所
電 話 番 号

⑩

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第1項の規定により、
次のとおり届け出ます。

- 1 事業所の名称
- 2 事業所の所在地
- 3 記録及び配管図面の保存の場所及び分類の方法

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。

- 2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名
することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業廃止届書

平成 年 月 日

様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所
電 話 番 号

印

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第2項の規定により、
次のとおり届け出ます。

事業開始の届出年月日

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。
2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名
することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

×整理番号	
×受理年月日	

特定液化石油ガス設備工事事業変更届書

平成 年 月 日

様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所
電 話 番 号

⑩

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の10第2項の規定により、
次のとおり届け出ます。

1 事業開始の届出の年月日

2 変更の内容

3 変更の理由

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。

2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名
することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

様式 15. 4

1. 記録及び配管図面の保存場所及び分類の方法

(1) 保存場所 記録（別紙様式）及び配管図面は、当事業所の（ ）に5年以上保存します。

(2) 分類方法等 （該当方法に○印をつけること。）

- ア、消費者名をアイウエオ順に分類する。
- イ、消費者名を市町村別に分類する
- ウ、その他（ ）

2. 事業所に備える器具

名 称	メ ー カ ー	台 数
自 記 圧 力 計		

3. 主な事業内容（該当するものに○印をつけること。）

(1) 液化石油ガスの販売

(2) 配管設備工事

(3) その他（ ）

4. 資格を有する者の氏名

氏 名	液化石油ガス設備士	
	免 状 の 番 号 及 び 交 付 年 月 日	交 付 都 道 府 県 名
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

(注) 欄が不足の場合は別紙とする。

×整理番号	
×受理年月日	

液化石油ガス設備工事届書

平成 年 月 日

様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所

⑩

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

(備考) 1 ×印の項は記載しないこと。

2 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

設備工事届書別紙

1. 貯蔵設備等の構造総括表

貯 蔵 能 力		Kg (Kg× 本)		
容 器 収 納 庫 の 構 造	屋 根	①繊維強化セメント板・②薄鉄板・③その他 ()		
	扉	材質 () 厚さ (mm) ①引戸 ・ ②シャッター ・ ③開戸		
	囲 い	①鉄筋コンクリート・②重ブロック・③鋼板製・④その他 ()		
	滞留防止措置	①有 (cm× cm 個 方向) ・ ②無		
	転倒防止措置	①チェーン ・ ②その他		
位 置	火 気 2 m	①適 ・ ②否	敷地境界線までの距離	m
	保安物件までの距離	第 1 種保安物件		m
		第 2 種保安物件		m
	火気取り扱い施設との距離 (1トン以上に限る)	①適 (5 m 以上) ・ ②否		
供 給 状 況	調 整 器	①自動切替式(1.分離型・2.一体型) ・ ②2段減圧式(1.分離型・2.一体型) ③単段減圧式 能力 <u> </u> kg/h		
	メ ー タ ー	①マイコンII ・ ②S ・ ③SB ・ ④E ⑤EB ・ ⑥その他 (), _____ 号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無		
	対震自動ガス遮断装置	①メーター内蔵 ・ ②感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	①有(1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ ②無		
	気化装置 (添付書類)	①有 (形式 能力 kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)		
警 戒 標	LPガス	枚	火気厳禁	枚
	無断立入禁止	枚	緊急時連絡先	枚
	燃	枚	管理者氏名	枚
消 火 器	能力単位 A- () 、 B- () 本数 () 本			

2. 供給管等

高 圧 部	主な管の材料		
中・低圧部	露出部	主な管の材料	
	埋設部	主な管の材料	深 さ m
	ピット	①有（有の場合は、図面に明記すること。） ・ ②無	

3. その他

設 備 士 名		設 備 士 免 状 番 号	県 No.
設 備 士 再 講 習 受 講 年 月 日	年 月 日		
ポリエチレン資格者氏名		資格番号	
配管用フレキ管資格者名		資格番号	
施 工 後 の 表 示	①有 ・ ②無	施 工 完 了 年 月 日	年 月 日
工 事 業 者 連 絡 先 電 話 番 号			
販 売 事 業 者 名 ・ 電 話 番 号	①有（ ） ・ ②未定		

4. 添付書類（以下の書類を添付すること）

1	現地への案内図（最寄り駅から所在地までが確認できるもの）
2	敷地配置図（敷地内の貯蔵設備の位置と付近の状況を示す図面）
3	保安距離図（貯蔵能力1トン以上の物件に限り必要。貯蔵設備からの保安距離（斜め距離含む）が確認できる図面）
4	容器収納庫の構造図（市販品使用の場合は製造元の仕様書等でも可）
5	供給管の配管図
6	施工設備士の免状の写し（再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。）
7	気密試験結果（自記圧力計の記録用紙の写し）*中圧部分がある場合はその結果も必要

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (kg × 基)	
規則19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
3号イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋没式 容積 _____ m ³ 材質 _____	製品仕様書及び 明細図
3号ロ	保 安 距 離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 _____ 有 ・ 無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真
3号ハ	安 全 弁 及び安全弁元弁	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置	
	(1)	所要吹出し量 $W_1 = \underline{\hspace{2cm}} \text{ kg/h}$ 規定吹出し量 $W_2 = \underline{\hspace{2cm}} \text{ kg/h}$	
	(2)	液 面 計 ①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式: _____	
	(3)	過 充 填 防 止 装 置 ①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	(4)	カップリング用液流出 防止装置付き液取入弁 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品	
	(5)	ガ ス 取 出 弁 及びガス放出防止器等 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	(6)	液 取 出 弁 及びガス放出防止器等 ①試験合格品 ・ ②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	(7)	カップリング付き均圧弁 有(①.試験合格品・②.大臣認定品) ・ 無	
	(8)	付属機器(1)~(7)の保護 プロテクター厚さ _____ mm	
	(9)	警 戒 標 表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	(10)	緊急連絡先の表示 表示内容:	施工後写真
	(11)	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) ①有(マグネシウム _____ kg× 本)・②無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの 電氣的絶縁・配管との絶縁継手等
(12)	支柱又はサドル等	①支柱 ・ ②サドル ・ ③その他	施工後写真

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1-2)

3号ニ (地上貯槽)	(1) 基礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	(2) 車両が接触しない措置	措置方法:	施工時写真
	(3) 支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4) 接地	接続線の断面積 _____ mm ² 接続方法: 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5) 安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号ホ (地下貯槽)	(1) 頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2) 埋設場所に車両乗入不可の措置	措置方法:	施工後写真
	(3) 浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容量 _____ m ³	施工図面・施工時写真
	(4) 石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5) ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6) 標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7) プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
3号へ	2m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	配置図(火気距離示す) ・構造図・施工後写真
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有・無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあつては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	貯蔵と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・②二段減圧式一体型を貯槽の直近・ ③二段減圧式分離型の一次側をプロテクター内・④その他	施工後写真
7号	規則第18条第4~7号、第8号の2~ 16号、第18~22号の基準	(別紙3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙 2-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		Kg (kg × 基)		
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
1号 (貯蔵能力千キログラム未満)	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (①試験合格品 ・ ②大臣認定品)	
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器 ・ 緊急遮断装置 (①.試験合格品・②.大臣認定品・③その他・④無)	
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	有(カップリング ①.試験合格品・②.大臣認定品) ・ 無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方式： _____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	ト	付属機器イ～への保護	プロテクターの厚さ _____ mm	
	チ	警 戒 標	表示内容：液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ	緊急連絡先の表示	表示内容：	
	ヌ	腐食防止措置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm	
	ル	スカート又はサドル等	①スカート・②サドル・③その他	施工時写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	ワ	車輛が接触しない措置	措置方法：	施工時写真
	カ	安全弁放出管の設置		施工後写真
ヨ	2 m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法：	配置図(火気距離示す) ・ 構造図・ 施工後写真	
タ	常に40℃以下に保つ		構造図	

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙 2-2)

2号 (貯蔵能力千キログラム以上 三千キログラム未満)	イ	保安距離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 障壁の有無 有 ・ 無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設 距離及び液化石油ガスの 流動を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力 A-() B-()	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ～カ までの基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあって は、告示に定める要 件に適合する資料	
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をプロテクター内・ ②二段減圧式一体型を貯槽の直近 ③二段減圧式分離型の一次側をプロテクター ④その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4~7号、第8条の2~ 16号、第18~22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯蔵~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa		

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 3)

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料		
中・低圧部	露出部	主な管の材料	
	埋設部	主な管の材料	深 さ _____ m
	ピット	①有 (図面に明記すること。) ・ ②無	
供給状況	調整器	①自動切替式(1.分離型・2.一体型) ②二段減圧式(1.分離型・2.一体型) ③単段減圧式	能力 _____ Kg/h
	メーター	①マイコンⅡ ・ ②S ・ ③SB ・ ④E ⑤EB ・ ⑥その他 (_____) , _____ 号	
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無	
	対震自動ガス遮断装置	①メーター内臓 ・ ②感震器連動	
	ガス漏えい検知装置	①有 (1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ ②無	
	気化装置 (添付書類)	①有 (形式 _____ , 能力 _____ kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)	
消火器	能力単位 A-(_____) , B-(_____) 本数 (_____) 本		

3 充てん設備に係る事項

項目	対応事項	添付書類
充てん事業者	名称 _____	
充てん設備の種類	①規則第64条第1項に基づく設備 (新 型) ②規則第64条第2項に基づく設備 (従来型)	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許可番号 _____ 許可年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輛 停 車 位 置	第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m	

様式16. 3-4 (バルク様式4-4)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙4)

4 設備士等

設備士名		設備士免状番号		県	No.
設備士再講習受講年月日		年	月	日	
ポリエチレン資格者氏名		資格番号			
配管用フレキ管資格者名		資格番号			
施工後の表示	①有 ・ ②無	施工完了年月日		年	月 日
工事業者連絡先電話番号					
販売事業者名・電話番号	①有 ()				②未定

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録用紙の写し) *中圧部分がある場合はその結果も必要